

**平成27年度
県人会担い手育成招へい事業
報告書**

期間：平成27年7月10日(金)～21日(火)

**主催：海外県人会人材育成・活用推進事業
実行委員会**

目次

・ごあいさつ	1
・平成27年度事業について	2
・概要	3
・参加者名簿	4
・全体プログラム日程	6
・プログラム内容	7
・参加者等の感想	11
・事業の総評	12
・参加者レポート／子弟	13
・参加者レポート／引率者	24
・参加者レポート／福岡県移住者子弟留学生	30
・福岡県の海外県人会について	36
・実施要綱	37

ごあいさつ

福岡県から海外に移住した方々とその子どもや孫などで組織する「海外福岡県人会」は、世界9カ国、21カ所に設立されています。

福岡県から海外への移住は、1885年、今から130年も前に、129人の方々がハワイへ移住されたことに始まります。移住された人々は、言葉はもとより気候、風土など全く異なる環境の中で大変なご苦労をされながらも、幅広い分野で活躍し、移住された国の発展に大きく貢献してこられました。

本県が国際社会の中で海外との交流を行う上でも、県人会は本県と移住国との交流の懸け橋として大変心強い存在となっています。

しかしながら、移住から長い年月が経ち、県人会の高齢化や世代交代が進んできています。県人会のさらなる発展、本県と移住国との交流促進のためにも、次代を担う若い世代の人たちに日本語や日本文化、そして故郷である福岡県のことを知っていただくことは大変重要であると考えています。

そのため、福岡県では平成20年度から、県人会の子どもたちを本県へ招へいし、日本文化の体験や同年代の子どもたちとの交流を通して、福岡に対する興味・関心を育み、帰国後の県人会活動参加への動機づけを図る本事業を行っています。

また、昨年度からは、海外福岡県人会のある国に県内の青年を派遣し、県人会の皆さまや現地の方々との交流をはじめ、各国の政治経済情勢などを幅広く理解することを通じて、国際感覚を身に付けてもらう取り組みを開始するなど、招へいと派遣の双方向で交流を深めています。

今回、8カ国11県人会から子弟19人、引率者10人の皆さんに参加いただきました。参加した子どもたちが、福岡や日本に関する興味や愛着を深めるとともに、福岡での経験について家族や県人会の皆さんに披露しているという話を聞いて大変うれしく思っています。

本事業に参加した子どもたちが、福岡にルーツがあることを誇りに思い、将来県人会活動の中核的存在として、各国と福岡県のために活躍していただくことを大いに期待しています。

本事業の実施に当たりご協力いただきました皆さまに深く感謝を申し上げますとともに、若い世代の育成に引き続きご尽力いただきますようお願いいたします。



平成27年12月

福岡県知事 小川 洋

概 要

1 目 的

海外福岡県人会会員の子弟を福岡県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図ることを目的としています。

2 期 間：平成27年7月10日（金）～21日（火）

3 招へい者人数：8カ国29名 【内 訳】子弟19名、引率者10名

国 名	子弟者数	引率者数
ブラジル連邦共和国	4	2
パラグアイ	2	1
ボリビア多民族国	2	1
コロンビア共和国	1	1
メキシコ共和国	2	1
ペルー共和国	1	1
カナダ	1	1
アメリカ合衆国	6	2
合 計	19	10

4 内 容

(1) 同年代の子どもたちとの交流

那珂小学校、竹下太鼓との交流、宗像市小学生との交流

(2) 福岡の魅力に触れる

福岡市内視察（博多祇園山笠見学、福岡市民防災センター）、トヨタ自動車九州工場見学、北九州市内視察（小倉城見学）、太宰府天満宮見学等

(3) ルーツを探る

親戚宅、ボランティア宅へのホームステイ

(4) 日本文化の体験

日本語学習、こんぺいとう作り、和太鼓体験

5 主 催

「海外県人会人材育成・活用推進事業実行委員会」

構成団体：福岡県新社会推進部国際交流局交流第二課・福岡県新社会推進部青少年課、

福岡県教育庁教育振興部義務教育課、（公財）福岡県国際交流センター

事務局：（公財）福岡県国際交流センター

共 催：宗像市

後 援：（財）サニックススポーツ振興財団

参加者名簿

【参加者】 8カ国11県人会から子弟19名、引率者10名が参加しました。

No.	県人会名	引率 子弟	氏名	性別	国名
1	ブラジル福岡県人会	子弟	鹿毛 丸林 健三 フィリッペ	男	ブラジル
2			平野 古賀 マリアナ	女	
3			芹川 松田 エリキ	男	
4			タナカ 礼雄	男	
5		引率	秋吉 クレイデ 美香 吉武	女	
6			古賀 雅雄	男	
7	パラグアイ福岡県人会	子弟	鬼塚 慶	男	パラグアイ
8			北川 健吾	男	
9		引率	石川 真奈美	女	
10	ペルー福岡クラブ	子弟	中里 エリ	女	ペルー
11		引率	佐々木 アナ	女	
12	コロンビア福岡県人会	子弟	中田 亜優美	女	コロンビア
13		引率	西 春美	女	
14	在ボリビア福岡県人会	子弟	藤田 大雅	男	ボリビア
15			徳永 ハビエル 竜一	男	
16		引率	田島 ひとみ	女	
17	メキシコ福岡県人会	子弟	ルビオ ロドリゲス アリアドナ ミリナ	女	メキシコ
18			イシイ イノウエ エリ	女	
19		引率	行徳 メルセデス	女	
20	バンクーバー福岡県人会	子弟	三木 ブライアン	男	カナダ
21		引率	千々和 ちえこ	女	
22	南加福岡県人会	子弟	広中 レムリア 征璽	男	アメリカ
23			岩永 青	男	
24		引率	宮田 英文	男	
25	シアトル・タコマ福岡県人会	子弟	玉井 ローレン	女	
26			ウエンガー ジェイデン	女	
27	ハワイ福岡県人会	子弟	堤 理沙 アシュリー	女	
28	ハワイ島福岡県人会	引率	吉山 尚美	女	
29		子弟	クック カリス 耶恵	女	

【福岡県移住者子弟留学生】

No.	県人会名	氏名	性別	国名
1	ブラジル福岡県人会	高階 矢富 強 ジュリアノ	女	ブラジル
2		平田 さゆり カレアンドラ	女	
3	パラグアイ福岡県人会	北川 瞳	女	パラグアイ
4	ペルー福岡クラブ	グティエレス タナベ アレックス	男	ペルー
5	在ボリビア福岡県人会	緒方 翔 マルセロ	男	ボリビア
6	メキシコ福岡県人会	エルナンデス 吉開 順一	男	メキシコ
7		寺本 英樹	男	
8	アルゼンチン福岡県人会	江口 イネス マリア	女	アルゼンチン
9	南加福岡県人会	松井 エリック 武士	男	南加
10		プリビ エミリー ジョン	女	

「福岡県移住者子弟留学生とは」・・・専門の知識と、日本、そして福岡県についての理解を深めるために、福岡県内の大学に1年間留学している海外福岡県人会の子弟。

【活動グループ】

参加者と福岡県移住者子弟留学生で6つの活動グループを作り、プログラムに臨みました。

Aグループ	子弟：鹿毛 丸林 健三 フィリップ 平野 古賀 マリアナ 芹川 松田 エリキ タナカ 礼雄	引率者：秋吉 クレイデ 美香 吉武 古賀 雅雄 留学生：高階 矢富 強 ジュリアノ 平田 さゆり カレアンドラ
Bグループ	子弟：鬼塚 慶 北川 健吾 中里 エリ	引率者：石川 真奈美 佐々木 アナ 留学生：北川 瞳 グティエレス タナベ アレックス
Cグループ	子弟：中田 亜優美 ルオ トリガス アリアナ ミナ イシイ イノウエ エリ	引率者：西 春美 行徳 メルセデス 留学生：寺本 英樹
Dグループ	子弟：藤田 大雅 徳永 ハビエル 竜一	引率者：田島 ひとみ 留学生：緒方 翔 マルセロ 江口 イネス マリア
Eグループ	子弟：三木 ブライアン 広中 レムリア 征璽 岩永 青	引率者：千々和 ちえこ 宮田 英文 留学生：松井 エリック 武士
Fグループ	子弟：玉井 ローレン ウエンガー ジェイデン 堤 理沙 アシュリー クック カリス 耶恵	引率者：吉山 尚美 留学生：エルナンデス 吉開 順一 プリビ エミリー ジョン

全体プログラム日程

期 日	時 間	内 容	宿泊場所
7 / 1 0 (金)	終 日	入 国	グローバルアリーナ
1 1 (土)	午 前	オリエンテーション	グローバルアリーナ
	午 後	小学校での出し物準備	
1 2 (日)	終 日	宗像市小学生との交流	グローバルアリーナ
1 3 (月)	午 前	小学校での出し物準備	グローバルアリーナ
	午 後	博多祇園山笠見学	
1 4 (火)	終 日	那珂小学校との交流	グローバルアリーナ
		茶道体験	
		和太鼓グループとの交流	
1 5 (水)	午 前	福岡県副知事表敬	グローバルアリーナ
		福岡県議会副議長表敬	
	午 後	福岡市民防災センター	
		福岡市内視察	
1 6 (木)	午 前	トヨタ自動車九州工場見学	グローバルアリーナ
	午 後	北九州市内見学	
1 7 (金)	午 前	こんぺいとうミュージアム	ホームステイ
	午 後	太宰府天満宮視察	
		ホストファミリーとの対面式	
1 8 (土)	終 日	ホストファミリーとの交流	ホームステイ
1 9 (日)	終 日	ホストファミリーとの交流	ホームステイ
2 0 (月・祝)	午 後	送別会	グローバルアリーナ
		引率者会議	
2 1 (火)	終 日	出 国	

プログラム内容

平成27年7月10日（金）～21日（火）

第1日目	10日 (金)	<p>◎入国</p> <p>8カ国（ブラジル・パラグアイ・ペルー・ボリビア・コロンビア・メキシコ・カナダ・アメリカ）から子弟19名、引率者10名が来福しました！</p>
第2日目	11日 (土)	<p>◎午前：オリエンテーション</p> <p>参加者とスタッフの自己紹介のあと、滞在中のスケジュールや諸注意を確認して、福岡県や日本のマナーについても一緒に学習しました。みんな揃って日本語の挨拶も練習しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;"> 歓迎の挨拶 自己紹介 </p> <p>◎午後：那珂小学校での交流準備</p> <p>7月14日に訪問する那珂小学校で、各県人会の紹介や各国のダンスや楽器演奏を披露するため、みんなで発表準備をしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;"> グループD (ボリビア) ダンスの練習 (左：メキシコ、右：ボリビア) </p>
第3日目	12日 (日)	<p>◎終日：宗像市小学生との交流キャンプ</p> <p>グローバルアリーナで、宗像市の小学生と一緒に、水鉄砲作りやおにぎり作り、そうめん流しなどの日本の伝統的な遊びや食文化を通して交流をしました。宗像市吉武地区コミュニティ運営協議会と正助ふるさと村のスタッフの方々にもご協力をいただきました。午後の「ことば遊びゲーム」では、グループごとに母国語を教えあい、ビンゴゲーム形式で勝敗を競い、国際交流を楽しみました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;"> 水鉄砲作り おにぎりを作りました そうめん流し </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;"> ことば遊びのビンゴゲーム 宗像市小学生の皆さんと一緒に </p>

<p>第4日目</p>	<p>13日 (月)</p>	<p>◎午前：那珂小学校での交流準備</p> <p>那珂小学校での発表の最後の仕上げをしました。お互いの県人会の歌や踊りを披露し合う場面も見受けられました。</p>  <p>◎午後：キャナルシティ見学、山笠見学</p>  <p>キャナルシティにて</p> <p>山笠見学</p>
<p>第5日目</p>	<p>14日 (火)</p>	<p>◎終日：那珂小学校との交流</p> <p>那珂小学校の小学生の皆さんとお手玉やけん玉など、日本伝統の遊びを体験したり、英語交流活動や掃除を体験しました。小学2年生と3年生とは、給食と一緒に食べました。また、各国・各県人会の紹介、ダンスや楽器演奏を披露し、交流をしました。</p>  <p>各県人会からの発表</p> <p>英語交流</p> <p>給食</p> <p>◎夕方：茶道体験、竹下太鼓グループとの交流</p> <p>那珂小学校に隣接している公民館で、茶道体験とフラダンス体験をしました。茶道体験では、先生にお点前を教えていただき、参加者も上手にお茶をたてることができました。その後、竹下太鼓グループの皆さんに教えていただきながら、和太鼓演奏を体験しました。</p>  <p>茶道体験</p> <p>フラダンス体験</p> <p>和太鼓体験</p>
<p>第6日目</p>	<p>15日 (水)</p>	<p>◎午前：海老井悦子福岡県副知事表敬訪問、原竹岩海福岡県議会副議長表敬訪問</p>  <p>海老井副知事と記念撮影</p> <p>原竹副議長と記念撮影</p> <p>◎午後：福岡市民防災センター、イオンモール福岡を訪れました。</p> <p>福岡市民防災センターでは、地震体験・暴風体験・消火体験等をしました。災害体験は初めてという子弟が多数おり、終始興奮した様子でした。</p> 

<p>第7日目</p>	<p>16日 (木)</p>	<p>◎午前：トヨタ自動車九州工場見学</p> <p>トヨタ自動車九州工場で自動車の製造工程を見学しました。</p>  <p>◎午後：小倉城・リバーウォーク見学</p> <p>小倉城では、お城の頂上の天守閣まで上がり、小倉城からの景色を楽しみました。</p> 
<p>第8日目</p>	<p>17日 (金)</p>	<p>◎午前：こんぺいとうミュージアム</p> <p>こんぺいとうの歴史をビデオで勉強した後、体験場所へ移動し、実際にこんぺいとう作りを体験しました。こんぺいとうを見るのも食べるのも始めてだという参加者もあり、楽しく体験ができました。</p>  <p>◎午後：太宰府天満宮見学</p> <p>学問の神様として有名な菅原道真が祀られている太宰府天満宮を、みんなで参拝しました。グループ毎に分かれて、おみくじを引いたり、梅ヶ枝餅を食べたりと、満喫した様子でした。</p>  <p>九州国立博物館にて</p> <p>太宰府天満宮見学</p> <p>◎夕方：ホストファミリー対面式</p> 
<p>第9日目</p>	<p>18日 (土)</p>	<p>◎終日：ホストファミリーとの交流</p>

第10日目	19日 (日)	◎終日：ホストファミリーとの交流
第11日目	20日 (月・祝)	◎午後：送別会
		ホストファミリーの皆さん、家族会役員、来賓の皆様と参加者がそろい送別会を行いました。
		  
		主催者代表挨拶 参加者代表挨拶(ハワイ島) ホストファミリーと記念撮影
第12日目	21日 (火)	◎帰国 12日間のプログラムを終えて、全員無事に帰国しました。

参加者等の感想

●子どもたちからの感想

- ・宗像市小学生との交流では、違う国の人たちや文化を知る事が出来たので良かった。
- ・日本で新しい友達ができ、美味しい食べ物や楽しいゲームができてとても幸せだった。
- ・母国ではホームスクールなので、日本の小学校のことを知れて良かった。
- ・他の県人会からの新しい友達ができ、そして新しい文化や習慣も学ぶことができたことが思い出に残った。
- ・ホームステイでは、たくさん買い物ができ、色々なところに行けて楽しかった。
- ・日本の親戚に会えて嬉しかった。日本の生活も知ることができた。
- ・自立心を学ぶことができた。もう少し福岡にいたかった。

●保護者からの感想（帰国した子どもの様子から）

- ・福岡県移住者子弟留学生との出会いが良い経験となったようで、将来は必ず留学生として福岡に戻りたいという決意を持ったようだ。
- ・日本が大好きになり、今まで以上に日本語の勉強に励むようになった。
- ・責任感と独立心が芽生えたようで、今まで親に頼っていたことでも、自分でできるようになった。
- ・世界中から集まった同じルーツを持つ子ども達と友達になったことが大きな財産となっている。今でもメールなどを通して連絡を取り合っているようだ。
- ・ホームステイで初めて親戚に会うことができ、自分のルーツを今まで以上に深く意識したようだった。
- ・今までは家族での会話に日本語を使う事が少なかったが、帰国後は積極的に日本語を使うようになった。

●引率者からの感想

- ・子ども達の面倒を、福岡県移住者子弟留学生や他の参加者と一緒に楽しめた事が思い出に残った。
- ・子ども達はプログラム中は大変楽しそうだった。体を使う遊びは言葉の壁を超えと思った。
- ・引率者も一緒になって楽しむことができ、そして福岡の魅力を知ることができた。
- ・色々な国から来た引率者達との交流や意見交換ができ、大きな財産になった。
- ・今まで以上に県人会活動に参加しようという意欲が湧いた。
- ・引率者会議では、各県人会の情報交換ができ有意義だったと感じた。
- ・日本語が分からない子どもは孤立していた。日本語をもっと勉強させる必要を感じた。

事業の総評

この事業は、参加した子どもたちが、①同年代の子どもたちと交流する ②福岡の魅力に触れる ③ルーツを探る ④日本文化を体験する等を経験することで、福岡・日本に対する興味・理解を深め、将来は県人会活動を推進するリーダーに育ってもらうことを目的としている。

今年度は、8カ国11県人会から29名が参加した。期間中には、那珂小学校において日本の昔遊びや、各国の歌やダンスの披露など交流の時間を設けた。6年生のクラスでは、英語を使っての交流の時間も取り入れ、お互いの好きなものや出来ることを英語で紹介しあった。また、宗像市の小学生との交流では、竹細工やおにぎり作りなどを行い、同年代との文化交流を存分に楽しんでいる様子であった。昨年に引き続き、ポルトガル語・スペイン語・英語・日本語の母国語の異なる子ども達を混合させたグループで、ことば遊びのビンゴゲームをした。お互いの母国語での簡単なあいさつなどを教え合い、県人会の子弟と宗像市の小学生のお互いが、外国の文化や言葉を学ぶことができた。

ホームステイに関しては、3泊4日間とした。親戚や知人宅で十分に楽しめる時間を充分に持て、良かったという声が多かった。初めて親戚に会う参加者もあり、自分のルーツを再確認できたようだ。

引率者会議では、それぞれの県人会が抱える問題や、どのような活動をしているかを改めて知ることができ、今後の県人会活動に役に立ったようであった。問題点として挙げられたのは、本事業に参加する子どもの日本語能力の低さであった。日本語が理解できないため、小学校交流や視察先でも周りのサポートなしでは交流ができないとの声もあった。出発前の事前学習など各々の県人会での今後の取り組みも検討していかなければならないと感じた。

本プログラムは、各県人会から福岡県に1年間留学をしている福岡県移住者子弟留学生にとっても、日本の文化や習慣を知る上で有意義なものとなっており、子どもたちのお兄さん、お姉さんとして、身の回りの世話や言葉のサポートをすることで、子どもたちの大きな支えにもなっている。今年は7カ国7県人会から10名の留学生が来ており、参加者をサポートしてくれた。子どもたちにとっても、留学生と触れ合えたことは、貴重な体験で、日本語をもっと勉強して、将来留学生として福岡県に戻りたいという夢を持って帰国した子どもたちも多かった。

今年は、FBS福岡放送が、入国から出国までの12日間密着取材を行い、「めんたいワイド」という番組の中で、2回に渡って本事業での子ども達との交流の様子を詳しく放送した。本事業の趣旨はもとより、移住の歴史や海外福岡県人会について、広く県民の皆さんに知ってもらい、理解を深めてもらいたい機会となった。

参加者レポート 子弟

Aグループ

	<p>ブラジル福岡県人会</p>	<p>鹿毛 丸林 健三 フィリッペ Kage Marubayashi Kenzo Filipe</p>
---	------------------	---

「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕は日本の全部が好きでした。町や建物が綺麗で、みんながとても親切でした。みんな交通規則をきちんと守っていました。新幹線にも2回のみました。とても速かったです。日本の景色もとても綺麗でした。美味しいものも食べました。テレビでは、僕達のことを特集した番組が流れました。綺麗な折り紙をもらったり、お菓子のこんぺいとうや、学校で使う本や鉛筆などもたくさん頂きました。お寺をみたり、温泉に入ったりしました。日本の子どもとたくさん遊びました。みんなでサッカーをするときは自己紹介をしました。県知事にも会いました。親戚の人と買い物もしました。久留米では木の人形を作ったり、けん玉をしました。叔母さんは色々な所に連れていってくれました。暑かったので、アイスクリームが一番好きな食べ物になりました。たくさんのお話を日本で習いました。けん玉を教えてもらったり、新幹線の速さに驚いたり、ショッピングモールが広くて色々な物が売ってあるのを知ったり、サッカーの商品もたくさんありました。百円ショップには色々な物があつたし、日本人は朝ごはんをいっぱい食べるのを知りました。日本食は美味しいです。今度日本へ行くときは、日本語をたくさん勉強していきたいです。本当に楽しかったです。

～親御さんからのメッセージ～

息子は幼い頃から祖父に連れられ、県人会活動に参加していました。今回実際に日本に行けた事は、一生忘れられない思い出になったと思います。新しい友達、県費留学生から色々と学び、将来は日本に留学したいとあって、日本語学校でもっと勉強するようになりました。今回プログラムに参加した事で、息子は少し変わりました。祖父との話の種が増えました。プログラム中の影響もあり、朝ごはんもよく食べるようになりました。色々な面で少し成長してきたようです。お世話して下さいました皆さま、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも家族みんなで日本の伝統と文化を守っていききたいと思っています。

Aグループ

	<p>ブラジル福岡県人会</p>	<p>平野 古賀 マリアナ Hirano Koga Mariana</p>
---	------------------	---

「プログラムで得たこと・学んだこと」

福岡で過ごした2週間は、あっという間でした。ちょっとした事でも相手に大きく感謝の気持ちを見せて大切にすることや、物を大事にすること、食事はみんなが集まってから食べ始めて食べ物は綺麗に残さず食べる事、時間を守りながら楽しむことなど色々と学びました。学校見学やホームステイもありました。日本語をもっと勉強しておけば良かったなと思いました。県費留学生との時間は私の人生の中で一番思い出に残りました。たくさんお世話してもらいました。言葉や文化の違いなどを体験しながら、日本人がどんなに小さなことでも、少しのものでも大事にすることや、家族や他人、相手の気持ちを大切にすることなど、日本で習ったことがたくさんあります。今回学んだ事を大切に、自分を変えていく努力をします。そしてもっと日本語を勉強して、いつか日本に行きたいと思っています。素晴らしいチャンスをくれた福岡県のみなさん、本当に心から感謝しています。ありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

今回娘を参加させて下さり、心から感謝申し上げます。11歳の娘が地球の反対側へ行くことは心配で眠れなくなったりもしました。しかし事前説明会や準備会議なども行われ、本当に安心して日本へ送ることができました。初めて家族と離れることは、娘にとって全てが珍しく学びの糧となりました。ホームステイ先の松延様には、私達先祖の住んでいた所にまで案内していただき、貴重な体験となりました。娘は帰国してから、すっかり変わって見えます。祖先は日本人だということに誇りをもち、日本語も自分から進んで勉強するようになりました。手慣れや礼儀も気をつけるようになりました。本当にありがとうございました。

Aグループ



ブラジル福岡県人会

芹川 松田 エリキ
Serikawa Matsuda Erik

「プログラムで得たこと・学んだこと」

たくさん日本語と日本文化を勉強しました。色々な国の友達ができて、違う文化も覚えました。日本語・英語・スペイン語も上手になったと思います。祖父が生まれた福岡県は、とても刺激的で楽しかったです。茶道が一番好きでした。感謝の気持ちをあらわすところが良いなと思いました。太鼓の練習も良かったです。残念ながら僕は練習中に頭が痛くなってしまいましたが、太鼓は好きでした。一番好きな食べ物はアイスクリームでした。そして一番楽しかったのは、こんべいとう作りです。週末のホームステイは素敵でした。ホストファミリーの関さんは、いつも僕を心配してくれました。分からない言葉は辞書で調べてくれて、紹介してくれました。日本のお父さんです。たくさん友達もできました。皆さん、本当にありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

今回、息子がお世話になり本当にありがとうございました。私や弟は元県費留学生ですので、家族の会話にはいつも福岡の話ができます。息子は参加する1年前から日本語、英語、地理、歴史の勉強を始めました。お金、リアルやドル、ユーロ、円についても勉強していたようです。参加することが決まっからは、毎週日曜日に参加者が集まって準備をしましたので、心強かったです。息子は出発前3日程は緊張してよく眠れませんでした。日本については、自分の持ち物は自分で責任をもって管理し、その他も話をするときは、はっきりとした口調で話すようになりました。出発前は、子どもにしか見えませんでした。今は違います。息子は今回のプログラムに参加したことで、世界が広がったと言っています。本当にありがとうございました。

Aグループ



ブラジル福岡県人会

タナカ 礼雄
Tanaka Leo

「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムで一番良かったのは小学校交流です。自己紹介をして、12時になったら2年生のクラスのお友達と一緒に給食を食べました。とても美味しかったのでおかわりをしようとしたら、先生が「汁しかないよ。いい？」と言ってカレーの汁を入れてくれたのも嬉しかったです。ブラジルでは昼まで学校がないので、昼ごはんは食べません。日本の学校は昼ごはんを食べることができて良いなと思いました。5年生のお友達とは、英語とけん玉もしました。日本の学校の先生は、生徒とよく話をすると思いました。掃除を自分達ですることも驚きました。ブラジルではしません。別の人がやってくれます。小学校のみんなが太鼓も上手だったので驚きました。僕は、ばちの正しい持ち方を習ってから、上手にたたけるようになりました。また、グローバルアリーナは遊ぶところがたくさんあって良かったです。このプログラムに参加して2つの事を学びました。一つは日本文化です。もう一つは自分の行動に責任をもつことです。自分が出来ることは自分でして、日本に着いてからはお金の管理もできるようになりました。色々な国の留学生にも会えました。将来留学生として福岡にいきたいと思います。ありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

「練習すれば結果は自ずとついてくる」「準備をしていれば大丈夫」という事を息子は学んだと思います。日本で11歳の子供が1人で買い物をするのは自然なことですが、ブラジルでは治安の悪さからこのような光景をあまり目にしません。ですので兄と一緒に外出し、その訓練をしていたようです。実際福岡で困らなかったのは大きな自信に繋がったようです。帰国後に息子は、ブラジル全国太鼓大会に出場しました。日本の太鼓の先生に教えて頂いた、ばちの持ち方が役に立ち、満足のいく結果を残すことができたようです。より一層、太鼓の練習にも励むようになりました。本事業の成果は計り知れません。以前本事業に参加した娘も直後には顕著な変化はありませんでしたが、大学1年生の今は福岡に留学するための意思を持って勉強に励んでいます。「計り知れない可能性」を本事業は参加者達に与えてくれていると思います。ありがとうございました。

Bグループ



パラグアイ福岡県人会

鬼塚 慶
Onitsuka Key

「プログラムで得たこと・学んだこと」

7月10日福岡空港に僕達子ども19人、大人10人が到着しました。そのとき「わあすごいな、ここが日本か」と僕達は歓声をあげました。カメラマンがいて僕達をとっていたので、少し恥ずかしかったです。

次の日から交流キャンプや山笠見学、小学校交流や茶道、和太鼓体験などのプログラムが組まれていました。その中でも僕が一番好きだったのが、ホストファミリーとの交流でした。動物園へ行ったり、おばちゃんのカニ料理を作ってくれました。僕は初めてカニを食べたのですが、すごく美味しかったです。また日本に行きたいです。今度は県費留学生として行きたいです。皆さん、本当にありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

息子が大変お世話になりました。息子は更に日本が好きになり、大きくなったら、また必ず日本に行くと言っています。先祖が生まれた場所を知り、福岡の親戚の皆様と出会えたこと、テレビに出た事、とても喜んでいます。また、日本に行くという目標が持った事で、勉強に励むようになりました。このような素晴らしい体験をさせていただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

Bグループ



パラグアイ福岡県人会

北川 健吾
Kitagawa Kengo

「プログラムで得たこと・学んだこと」

パラグアイでは冬休みになり、その期間で福岡県に行けることになりました。初めて飛行機に乗ったのでワクワクしました。24時間後に日本に着いた時は、とても嬉しかったです。空港に迎えに来てくださった国際交流センターの方と一緒にグローバルアリーナに向かいました。僕は「ああ、やっと着いた！よしっ」と気合いを入れて部屋に入りました。すると部屋には知らない人がたくさんいて、少し恥ずかしくなりました。でも、すぐにみんなと友達になれたので良かったです。一番珍しかったのは、自動販売機でした。飲み物はもちろん、食べ物もありました。毎日色々なものを買って食べました。その他には、地震体験をしたことです。パラグアイには地震がないので初めての体験でした。怖いというより面白かったので、いっぱい笑いました。でも本当に起こったらびっくりするだろうと思いました。那珂小学校で僕達の国のことを発表した時、みんな真剣に聞いてくれました。また、みんなで給食を食べる事は良い事だと思いました。僕が通っている学校は半日授業なので給食はありません。楽しい時は、あっという間に過ぎてしまいました。もっと日本に残りたかったです。このようなチャンスを与えてくれた福岡県の皆さん、本当にありがとうございました。また福岡に行きたいです。

～親御さんからのメッセージ～

このプログラムに参加する前は、人前で話す事が苦手なようでした。しかし、集団生活のおかげで時間を守り、規則正しい生活を身につけ精神面でも大きくなり、責任感が芽生え、積極的に became. また、日本文化を体験できたことは、本当に良い機会だったと思います。息子にとって一生忘れることのできない経験をさせて下さった県人会の皆様、福岡県の皆様に、感謝の気持ちで胸がいっぱいです。本当にこのようなチャンスを下さり、ありがとうございました。

Bグループ



ペルー福岡クラブ

中里 エリ
Nakazato Eri

「プログラムで得たこと・学んだこと」

一人で初めて旅行をしました。最初は緊張していましたが、だんだん慣れてきました。那珂小学校へ行った日は、とても楽しかったです。子ども達と遊んだり、ダンスを教えてもらったりしました。他の国の県人会の友達もいっぱいできました。新しくできた友達は、自分の国の文化や習慣も教えてくれました。「コンペトウ」の作り方も習いました。わたしはコンペトウのことを日本に来るまでは知りませんでした。初めて見ました。とてもおいしいキャンディーです。福岡が大好きです。ペルーとは違います。食べ物はとてもおいしくて、町はきれいです。お寺やお城もあって、すばらしかったです。お寺やお城を見学して、今まで以上に日本文化や習慣について分かるようになりました。副知事にも会うことができて、とてもうれしかったです。このプログラムに参加することができてとてもよかったです。祖父母のふるさとのこと、その町と文化に触れることや知ることができてうれしいです。お世話してくださった皆さん、どうもありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

エリはおとなしい子でしたが、今回のプログラムに参加してから、前より人と積極的に話したりしています。福岡でいっぱい新しいことを習ってきたようです。とても喜んでいて、友達もたくさんできたようです。友達とメールのやりとりをしたり、フェイスブックで友達になったり、いつも連絡をとっています。日本文化や日本料理にもっと興味を持ち始めて、ペルーに帰ってきてからは、それらを好んで食べるようになりました。娘にこのような貴重な経験、機会を与えて頂き、どうもありがとうございました。

Cグループ



コロンビア福岡県人会

中田 亜優美
Nakata Ayumi

「プログラムで得たこと・学んだこと」

今回のプログラムに参加したことで、たくさんのことを学ぶことができました。茶道をはじめとする日本文化や伝統文化を体験することができました。また那珂小学校に行ったことで、日本の小学生が学校ではどのように過ごしているのかなどを知ることができました。コロンビアとの違いを知ることができたのは、大切な経験になったと思います。一番の違いは、日本の子ども達は、昼ごはんを自分達で準備します。コロンビアと違います。そのような事はしません。そして、日本人はいつでも時間を守ります。いつも相手を尊敬する心も持っています。今回のプログラムで、本当にたくさんのことを学びました。

みなさん、ありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

私達家族は、娘が日本に行くのをとてもわくわくした気持ちで待っていました。娘にとっては初めての日本への旅だったので、期待と不安が入り混じった様子でしたが、日本の家族のことを知ることができ、新しい文化を体験することができました。福岡でどんなに素晴らしい毎日を過ごしたかや、体験・経験したことについて、コロンビアに戻ってから私達家族に話してくれました。娘は、今回のプログラムで経験した様々な事柄、素晴らしい日本文化と日本の家族やルーツについて、自分の学業や将来に生かしていきたいと言っていました。私達家族は、娘が福岡に行けた事にとっても感謝しています。ありがとうございました。

Cグループ



メキシコ福岡県人会

ルビオ ロドリゲス アリアドナ ミリナ
Rubio Rodriguez Ariadna Mirina

「プログラムで得たこと・学んだこと」

他国の文化や習慣を知る機会を与えてくれたことに感謝します。私にとって、今回のプログラムは貴重な体験となりました。他国の子ども達との交流だけではなく、私が知らなかった日本文化を学んだり、子どもの頃からの良い行いや小学校での独立心を育てる日本の教育を尊敬しています。私にとってこの経験は、多くの面で私を成長させてくれました。中でも最も重要だと感じたのは、家族についてです。日本の家族の飯田家にホームステイで行った最初の日は、日本の習慣を理解出来ず、とても良くして頂いたにも関わらず馴染めませんでした。しかし、時間が過ぎ、私の父と祖父のルーツなどを教えてもらい、多くの事を理解することが出来ました。飯田家の方々はとても良い人で、彼らの考えは立派でした。私は彼らと親族であることを誇りに思い、そして感謝しています。

このプログラムに参加したことで、とても成長できたと思います。今までは内気で、交流が苦手だった私は、今回の経験を通して積極的になりました。友達も出来ました。私は、この繋がりが長く続くことを確信しています。また日本へ行き、美しい景色を描き、人の美しさ、豊かな文化などをメキシコの皆さんにも伝えていきたいです。

～親御さんからのメッセージ～

娘の福岡での滞在は短いものでしたが、自分の家族のルーツを知り、またそのことに今までには感じなかった愛情を感じたようです。それに日系人との交流や活動に参加したいという気持ちが強くなったようで、今回のプログラムに参加した事で、私達にとっても重要な目標を達成できたと思います。小学校訪問をしたことで、教育の重要性も学び、日本のように子どもの頃から良い行いを活かす事は、メキシコがより良い国になるためにとっても大切なことだと感じたようです。このような機会を与えて頂き、感謝しています。ありがとうございます。

Cグループ



メキシコ福岡県人会

イシイ イノウエ エリ
Ishii Ynoue Eri

「プログラムで得たこと・学んだこと」

一番心配だったのは日本語が通じるかでしたが、引率者と県費留学生のお陰で、みんなと仲良くなれました。県費留学生はお世話だけではなく、日本について色々なことを教えてアドバイスもしてくれました。寺本英樹さん、ありがとうございました。一番印象に残った事は日本人がとてもきちんとしていることです。人がたくさんいても順番を守り、思いやりの心をもって行動しています。グローバルアリーナは広くてきれいで、面白い自動販売機がたくさんありました。とても良い所でした。日本料理もたくさん食べました。全部おいしかったです。博多祇園山笠は初めて見たので少し驚きましたが、とても楽しかったです。毎日が忙しくて充実していて、楽しかったです。たくさん友達ができたり、親戚に初めて会ったり、日本料理をたくさん食べたり、本当に素晴らしい経験でした。これから先もずっと大事にしていきたい経験になりました。日本語や日本文化の勉強もがんばっていききたいです。自分のルーツを知り、そして理解することができて、とてもうれしく思っています。心より感謝しています。

～親御さんからのメッセージ～

娘が大変お世話になり、心から感謝しています。初めての一人旅行で、普段から何でも怖がる子でしたが、帰国後は自信を持ち、あまり怖がらなくなりました。それに一番変化があったのは、日本語です。さらに興味を持ったようです。娘はプログラムに参加する前までは、日系人の意味をよく理解していなかったようですが、今回でよく分かったと言っています。他国の日系人と繋がれたことは大事な経験になりました。帰国してからは、メキシコの友達に日本のことをよく話しています。福岡で撮った写真を見せたり、自分のルーツであるおじいさんと日本について、日本語でゆっくり話をしています。福岡に行く前までは、日本へ留学する事など考えていなかったようですが、今では「自分は大人になったら絶対に日本に留学する」と言っています。本当に感謝しています。

Dグループ

	在ボリビア福岡県人会	藤田 大雅 Fujita Taiga
---	------------	-----------------------

「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕達ボリビアからの参加者は、一番最初に日本に到着しました。それから夕方になるとブラジルのお友達がやってきました。その時は嬉しかったです。それから後になって、色々な県人会からのお友達が到着しました。僕と竜一君は、はじめにアメリカとカナダの県人会から来た人達とお友達になりました。つぎに、パラグアイ、ブラジルです。色々な国に友達が増えてうれしかったです。僕達は、自動販売機と一緒にいって、ジュースを飲みました。毎日、朝ごはんが終わるとアメリカの県人会の子ども達と遊びました。夜にお風呂に入りに行くときも一緒にいきました。アメリカの青くん、征聖くん、カナダのプライアン君とは本当によく遊びました。日本での初めての買い物は、お菓子を買いました。新鮮なことばかりでした。日本の小学生との交流も、とても面白かったです。みなさん、本当にありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

息子が本プログラムに参加してから、色々な面での成長を感じます。責任感、ものの考え方、みかた、自分の事は自分でやるようになり、周りの人のことも気遣うようになりました。日本で過ごした日々は、子ども達にとって楽しい事ばかりだったと言っています。多くの方々の支え、子ども達のお世話をしてくださったスタッフの方、ホームステイを心良く引き受けてくれた方々、皆さんには本当に感謝しています。本当にありがとうございました。

Dグループ

	在ボリビア福岡県人会	徳永 ハビエル 竜一 Tokunaga Javier Ryuichi
---	------------	---------------------------------------

「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕のおじいちゃんの故郷を見に行けた事に感謝しています。友達もたくさんできました。日本の小学校でお友達を作ったり、和太鼓をたたいたり、竹鉄砲を作って遊んだりしました。トヨタ自動車工場見学が一番ワクワクしました。ロボットが自動車を組み立てていました。コンペイトウも作りました。美味しかったです。ホームステイでは初めて、僕のおじいちゃん、おばあちゃん、いここに会いました。遊園地に連れていってもらったり、買い物にもいって楽しかったです。また日本に行きたいと思いました。国際交流センターの皆さん、今回お世話してくださった皆さん、本当に感謝しています。ありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

私達徳永家は、子弟招へい事業が始まってから子ども四人が参加させて頂きました。本当に嬉しく思います。一人一人が出発するたびに不安になり、特に竜一は末っ子で甘えん坊で大丈夫だろうかと心配でした。しかし、新しいお友達と交流して意見交換したりして、日本の習慣や文化などに興味を湧いたそうです。色々な体験をして、見るのさえも初めての事が多く、素晴らしい体験になったと言っています。日系二世、三世、それから四世と世代を超えて、故郷とのつながりを大切にし、その使命を担っていきたく強く思いました。皆さま、心より感謝とお礼を申し上げます。

Eグループ



バンクーバー福岡県人会

三木 ブライアン
Miki Brian

「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕はこのプログラムに参加できてうれしかったです。日本に行ったことがなかったので、たくさん学ぶことができました。日本語もたくさん覚えました。親戚や世界中の友達と話しました。日本のマナーも学びました。日本のお風呂は新しい経験でした。いつも5分前に集まることも大事でした。日本の学校はとても興味深かったです。お昼ご飯を食べたあとに、日本の生徒達は自分達で教室のそうじをしていました。しかも、お昼ご飯の準備も自分達でしていました。日本の子どもは、けん玉や、グーチョキパーをして楽しんでいました。また、日本には環太平洋火山帯にあるので、自然災害がたくさんおこります。福岡市民防災センターに行けてよかったです。とても役に立ちました。僕が住んでいる所にもあったらいいなと思いました。僕の親戚についても、たくさん学びました。日本にはたくさん親戚がいるのがわかりました。親戚と新幹線にも乗りました。とてもリラックスできました。新幹線は短時間で遠くに行けるのがすごいと思いました。

僕は、このプログラムに参加できて楽しかったです。友達ができて、とても素晴らしい経験でした。本当にありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

今回は、引率者として息子と一緒に参加させて頂き、とても感謝しています。親として、自分の子ども達が福岡に実際に行って、福岡とどのようなつながりを作ることができるのか、楽しみにしていました。子ども達は、最初は言葉が分かる者同士や、同じ県人会同士でしか交流をしていませんでした。しかし、最後には皆で仲良く遊んでいました。私自身たくさんの事を学びましたし、福岡のルーツをより理解し感動しました。ホームステイでも親戚にたくさん会うことができました。子ども達にとって、引率者にとっても本プログラムは本当に有意義なものだと思いました。本当にありがとうございました。

Eグループ



南加福岡県人会

広中 レムリア 征穂
Hironaka Remulla Sage

「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕は福岡で色々な初めての経験をしました。初めてお母さんの親せきの家にホームステイをして、僕のひいおばあさんに会いました。ひいおばあさんは、ぼくに会えてとてもうれしいと言ってくれました。そして、ひいおじいさんのお墓参りに行きました。日本のお墓はお寺にあつて、ぼくはお線香をあげました。日本の小学校にも行きました。みんなで給食を食べて、そうじをしました。みんなに日本のいろいろな遊び方を教えてもらいました。日本の学校の体験ができて、とても良かったです。一番楽しかったことは色々な国の友だちができたことです。ぼくはパラグアイやボリビアなどから来た友だちとトランプや追いかけてっこをして遊びました。ぼくが知らない遊びを色々教えてくれました。自動販売機で食べ物や飲み物を買ったり、お菓子をみんなで分け合ったのは良い思い出です。ありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

今回はこのような素晴らしいプログラムに息子を参加させて頂き、本当に有難うございます。帰国後の息子の様子を見て、福岡での体験がとても生き生きしたものだったこと、そして彼の心の成長がうかがえました。スタッフの皆さん、色々な国からきたお友達、小学校のお友達、親戚家族との温かい交流が持てたからだと思います。帰国後しばらくは写真などを見ながら、福岡での経験を少し興奮気味に教えてくれました。滞在中、皆さんのお陰で彼の視野は広がり、初めての経験を素直に受け止められたように思います。また、日本語を使って交流することに自信が付き、会話を楽しめるようになったようです。今回のプログラムを機に自分の住み慣れた町や国以外の人との交流の大切さを感じ取れた事と思います。貴重な体験をさせて頂いたことにとっても感謝しています。ありがとうございました。

Eグループ



南加福岡県人会

岩永 青
Iwanaga Haru

「プログラムで得たこと・学んだこと」

今回のプログラムで体験した事は、僕にとって初めての事ばかりで、福岡の事をより知る事が出来てものがすごく楽しかったです。その中でも一番楽しかったのが、那珂小中学校に行ったことでした。日本の小中学校は発見の連続でした。まず靴は、入り口ではき替えて教室に入る。それから、学校にプールがあったり、僕が通っているアメリカの学校にはない大きな体育館もありました。3年生が僕たちの事を上手な踊りで迎えてくれたのがうれしかったです。そして、3年生の教室で一緒に食べたカレーはとてもおいしかったです。次に、5年生のクラスの生徒の前でプレゼンテーションを行った後に、グループに分かれて彼ら個人の趣味や特技について知る事ができました。それから6年生の音楽の授業で、全員がリコーダーを練習しているのを見学しました。アメリカではない授業でした。次に、茶道体験をしました。ここでは、お茶の出し方を学びました。お茶の先生に「あなたもお茶の先生になれるんじゃない?!」とほめられてうれしかったです。最後に、竹下太鼓部と一緒に太鼓を叩きました。みんなと一緒に太鼓を叩いたことはとても気持ちよくて楽しい思い出になりました。次の日に、小倉城に見学に行きました。小倉城の最上階から見る福岡の景色は特別きれいでした。今回お世話になった留学生のお兄さんお姉さん達、スタッフのみなさんにとっても感謝しています。ありがとうございました。皆と会える日が来ることを楽しみにしています。

～親御さんからのメッセージ～

息子を今回のプログラムに参加させて頂き誠にありがとうございました。この上ない貴重な体験となりました。帰ってからも興奮冷めやらぬ様子で、体験した様々な事柄、各国の子ども達との出来事を語る日々が続く、いかに素晴らしいプログラムであったかを知る事ができ感激致しました。今回の経験で、息子の福岡への興味が増した事、ご協力頂いた方々への感謝の気持ち、違う国の同年代の子ども達との友情が芽生えたことを大変嬉しく思います。将来この経験が国際交流に生かされることを切に願っています。今回のプログラムに終始きめ細やかなご配慮を下さいました関係者の方々に深く御礼申し上げます。

Fグループ



シアトル・タコマ福岡県人会

玉井 ローレン
Tamai Lauren

「プログラムで得たこと・学んだこと」

自分のルーツである日本人としての礼儀作法、自立心、積極的に行動する事を学びました。今までは親がいて、何でもしてくれるのが当たり前の生活をしていましたが、自分の出来る事は自分でする事の大切さに気がつきました。世界中から同じ歳の青年が集まり、共同生活をするというプログラムに初めはかなり心配、緊張していました。でもすぐにお友達も出来て、一緒に行動するうちに仲良くできたのですぐに緊張もとけました。色々な国の生活の事を聞いて、これからは世界中を旅したくなりました。日本語はもちろんの事、他の国の言葉にも興味ができました。那珂小中学校でのプレゼンテーションはかなり緊張しましたが、自分でも上手くできたと思います。生徒の皆さんが一生懸命、積極的に英語で話しかけてきてくれてとてもびっくりしましたがすごく嬉しかったです。さらに憧れていた日本の給食もいただく事が出来て本当に嬉しかったです。アメリカの給食と比べ物にならないくらい、とてもヘルシーで美味しかったです。アメリカの学校と日本の学校の違いが勉強出来たので、シアトルのお友達にも教えてあげたいと思います。茶道教室や流しそうめん、お祭りなど初めての体験をさせていただいて、素晴らしい思い出が出来ました。ホームステイでも大変良くしていただいて、感謝しています。お土産にすごく綺麗な浴衣までいただいて、とても嬉しかったです。皆さんには、言葉で表現できないほど深く感謝しています。これからは日本、福岡との交流の懸け橋となれるように、日本語の勉強をもっと頑張りたいと思います。

～親御さんからのメッセージ～

娘が大変お世話になりとても感謝しております。娘は、消極的で同世代の子と比べると子供っぽく怖がりな所がありました。しかしこのプログラムを終え、恥ずかしがらずに話す事、自分の事は自分でやるなどという事を学び、積極的に手伝いをしてくれたり、福岡で新しくできた友達にも、自ら連絡を取り合っています。以前は私達に80%英語で話しかけてきていましたが、日本語で一生懸命話しかけたり、単語など調べていたり私達も驚いています。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

Fグループ

	<p>シアトル・タコマ福岡県人会</p>	<p>ウェンガー ジェイデン Wenger Jayden</p>
---	----------------------	--------------------------------------

「プログラムで得たこと・学んだこと」

わたしはこのプログラムで、自立心と責任感を学び、それをより発展させることを学びました。そしてこのプログラムが素晴らしかったのは、世界の国々からの友達が出来、国と国のコネクションを作れたことでした。それからこのプログラムを通じて色々ことを新しく学びました。例えば、わたしが特に興味を持ったことは、日本の家庭とアメリカの家庭の違いや、日本の学校とアメリカの学校生活の違いでした。他にも日本の伝統文化を知ることは楽しかったです。例えば、日本に古くからある伝統的な茶道の体験や、浴衣を実際に着てみることで、日本のお城を見学することなど、日本の目を瞠るような文化に触れることが出来たことでした。日本の伝統文化を学んだだけではなく、他国から参加した子ども達の文化を知ることが出来、その国がどこにあるのかもわかりました。わたしは以前何回か日本を訪れていますが、今回の経験は間違いなくわたしの一番のお気に入りの体験になりました。何故なら、わたしの歴史、わたしの家族がどこから来たのかを知ることができ、同年代の子ども達と接することも出来、とても親切で素敵な人たちに巡り合えたからです。わたしはこの素晴らしい経験を決して忘れることはないと思います。

～親御さんからのメッセージ～

娘は出発前は参加することをかなり心配していました。しかし、十分に楽しみとても素敵な毎日を過ごしたようです。グローバルアリーナでの宿泊とホームステイがお気に入りでした。他の州や、他の国々から来た子ども達に会え、すぐに数人のお友達が出来ました。何人かとは今でも連絡を取り合っています。今回このような素晴らしい機会を与えて下さったことに深く感謝すると同時に、このプログラムがこの先いつまでも続くことを切望しています。彼女は滞日中に日本文化、学校生活、祖父の出身の町など色々学ぶことが出来ました。本当に日本が好きで、また日本を訪れるのを待ちきれないようです！

Fグループ

	<p>ハワイ福岡県人会</p>	<p>堤 理沙 アシュリー Tsutumi Lisa Ashley</p>
---	-----------------	---

「プログラムで得たこと・学んだこと」

今回のプログラムを通して、日本文化についてたくさんの事を学びました。団体行動の決まりと、それを守る大切さ、挨拶などについて学びました。那珂小学校では、日本の小学校とアメリカの違い、日本特有の色々なゲームを学びました。茶道や太鼓も体験することができました。福岡市民防災センター、トヨタ自動車工場、こんぺいとうミュージアムでは、ハワイでは経験できないたくさんのことを見て、体験しました。日本独特の食べ物、流しそうめん、しゃぶしゃぶ、お好み焼きの作り方、食べ方も学びました。日本の食事は、きれいな盛りつけで味も色々とても美味しかったです。ホームステイでは、初めてお布団に寝たり、たこ焼き作りなどを体験する事が出来ました。小学校2年生男の子がいて、一緒に動物園に行ったり、ハワイの法律ではできなくなってしまった花火をすることもできて、とても楽しかったです。今回の一番の思い出は、世界中の県人会の人たちと友達になり、一緒に過ごせたことです。それぞれの国のことについても、学ぶことができました。友達と最後に別れる時にはとても悲しかったけれど、ハワイに帰ってから連絡をとりあっています。このプログラムを通して学んだこと、新しくできた友達は、私にとってとても大切な経験と思い出、宝物となり、私のこれからの人生の力となっていくことと思います。とても楽しい体験と、かけがえのない宝物を下さった、みなさまにとっても感謝しています。

～親御さんからのメッセージ～

娘を参加させていただいた事に、心から感謝しております。日本の知識がより深く明確になり、日本の環境、社会や文化を11才なりに実感し学ぶことができた様です。団体行動を通して、チームワークの意味、決まりを守る事の大切さも学びました。一番の貴重な経験は、世界中から参加した福岡県人会の参加者、福岡の小学校の先生、新しい友達などができた事です。このプログラムに関わる関係者の方々の、ご協力により、このプログラムができ貴重な体験をすることが出来ている事を、日々子どもなりに実感していた様で、そのことにとっても感謝しています。今でも、県会のお友達と、スカイプや、携帯電話で連絡をとりあっています。このプログラムを通して、世界に対する興味がより深まったことは、言うまでもありません。娘が、体験して学んだ事、生涯につながる貴重なお友達が出来たことは、とてもかけがえのない大切な経験となり、将来に良い影響を与えてくれる事と思います。皆様に深く感謝いたします。

Fグループ



ハワイ島福岡県人会

クック カリス 耶恵
Cook Charis Yae

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は今回のプログラムで、たくさんの友達を作ることができました。このように様々な国の県人会から集まった友達ができただ事は貴重な体験でした。プログラム中には、たくさんの日本の伝統文化を学びました。日本の食べ物、日本ならではのもの、日本の生活様式などです。また、スペイン語の勉強も今回の参加者の一人から習いました。もちろん、たくさんの日本語も学びました。日本人についての知識もたくさん増えたと思います。参加した友達との助け合いや、また友達が何をして欲しいのかなど、コミュニケーションについても学ぶことができたと思います。ありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

娘は今回のプログラムを心から楽しんだようでした。特に全世界からの新しい友達が出来た事がとても楽しかったようです。娘は、控えめでのんびりとした性格ですが、プログラム参加後は、親の私達がみても驚くほどの変化がありました。よく話すようになり、活発になりました。娘がもっと話すようになり、活発になることで新しい友達も増えるので、私達としても望ましいことです。娘は以前にも福岡に行ったことがありますが、両親なしで行くのは今回が初めてでした。ですので今回一人で行かせるのは心配でしたが、沢山の友達を作って帰ってきました。これからも今回できた友達と連絡をとりあってくれればと思っています。今回お世話になった方々に心から感謝しております。子ども達にとって、ルーツを知ることができる素晴らしいプログラムだと思っています。ありがとうございました。

参加者レポート 引率者

Aグループ

	ブラジル福岡県人会
	秋吉 クレイデ 美香 吉武 Akiyoshi Cleide Mika Yoshitake

本事業に引率者として参加させて頂き、とても良い経験になりました。子ども達の新しいものに挑戦する様子を見ることは、自身の将来の子どもの教育の幅も広がるように感じました。那珂小学校の皆さん、宗像市の皆さん、家族会の皆さんの素晴らしいおもてなしや親切さに驚き、とても感動しました。プログラム中、海老井悦子副知事や議会表敬では、この事業の目的の説明や海外に住む移民子弟への思いを聞くことができ、ブラジルに居る自分達も福岡県民と同じような扱いを受けている気持ちになり、改めて日本人である事を自覚しました。又、子ども達の質問に対しても丁寧に答えてくださいました。福岡市民防災センターでは貴重な体験ができました。ブラジルでは地震はないけれど、洪水や火災で毎年大勢の被害者が出ます。ブラジルでもこのような体験施設があれば良いなと思いました。私はブラジルで父や知人から移民の話聞いていましたが、今回はホームステイで日本に残った家族や親戚も移民した兄弟を案じたり、成功して日本帰ってくるのを祈り続けた話を聞き、今まで知らなかった世界を知ることができて良い勉強になりました。12日間という短い期間でしたが、どこへ行っても日本人が自然を大事にしている様子を見る機会があり、大変驚きました。最後に、引率者会議と意見交換会がありました。他の国の県人会でもブラジルと同じようにメンバーが高齢化していることを聞いてとても残念なことと思いました。又その国によって色々な習慣や、伝統の違いの問題もあります。これからもっと勉強をして、日本とブラジルのつながりを広く深くしたいと思います。

Bグループ

	ブラジル福岡県人会
	古賀 雅雄 Koga Massao

このプログラムに参加させて頂き、色々な事を学びました。日本人はとても礼儀正しく丁寧で、秩序正しい社会に住んでいて、イベントも多く素晴らしい所でした。宗像市の小学生達と一緒にそうめん流しなどを体験し、私達にとっては珍しいことばかりでした。那珂小学校を見学し、茶道体験と和太鼓交流、ブラジルでは習慣のない、生徒達による給食配膳、掃除など沢山の事を教えられました。プログラムの中には、副知事・副議長表敬、こんぺいとうミュージアムやトヨタ自動車九州工場見学等に行かせてもらい、また太宰府天満宮視察や山笠見学などに参加し、日本文化も学びました。ホームステイのおかげで、祖父の妹にあたる叔母、父のいとこや姪に会う事が出来ました。彼らに会うのは2度目ですが、今回も大勢の親戚が集まって祝ってくれて、感激しました。本当ににぎやかで楽しいひとときでした。私はもっと日本語の勉強をしなければと、つくづく感じました。今回、様々な行事に参加させて頂き、順調に事業を終えることができました。子どもたち、その両親の方々にも、私を引率者として信頼して下さった事にお礼を申し上げます。短い期間でしたが、子どもたちに接して、経験を共にし、逆に色々な事を教えられました。同じく引率者として参加した秋吉さんにも感謝します。この先、皆様との縁を大切にして、ブラジル福岡県人会の発展のため、一生懸命活動を続けていきたいと思っています。国際交流センターのみなさま、ともに参加されました他の国のお友達の方々、いつかブラジルにも来てくださることを楽しみにしております。皆様に心から感謝申し上げます。このような素晴らしいプログラムが続けられるようご尽力して下さった皆様、本当にありがとうございました。

Bグループ



パラグアイ福岡県人会

石川 真奈美
Ishikawa Manami

今回参加出来たのは貴重な体験でした。事前準備がしっかりされたプログラムで沢山の体験をし、参加者の皆様とも、お互いの県人会の活動や日常生活、仕事、互いに違う国や文化の中での生活について話し合えました。毎日のスケジュールはあっという間に過ぎました。宗像市小学生の生徒さん達と椅子取りゲーム、水鉄砲を作り水をかけ遊ぶ姿は、日本の子ども達も県人会の子ども達も生き生きと目を輝かせており、一日を楽しく過ごすことができました。流し素麺を体験する際は、「普段素麺食べないから」と言っていた子ども達も美味しそうに食べていました。那珂小学校訪問では、色々な遊びや折り紙で作ったプレゼントを用意して下さり、大人も子どもも楽しい時間を過ごせました。その他、トヨタ自動車工場見学で最先端技術を見学したり、小倉城でのバリアフリーが進んでいるところに感動したり、こんぺいとうミュージアムでの体験など様々なことを経験させて頂きました。ホームステイでは、家族のように接して下さり、亡くなった祖母に会えた気分で懐かしくてほっとしました。その分、別れが辛かったです。今回プログラムに参加したことで、母県と県人会との絆や海外の県人会の存続活性化を願ってくださっていることを理解することができました。企画から実施に関わってくださった皆様、お手伝いをしてくれた留学生の皆さん、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

Bグループ



ペルー福岡クラブ

佐々木 アナ
Sasaki Ana

今回のプログラムに参加することができて良かったと思います。世界中の色々な福岡県人会の人達と交流ができて本当に勉強になりました。12日間という短い期間でしたが、日本の習慣や文化に触れることができました。福岡は、人も親切だし、町もきれいでした。

プログラム期間中は、福岡の習慣や文化に触れるだけではありませんでした。何より一番良かったのは、他の国の人達ともお話しすることができた事です。みなさんの国の事を色々聞いたり、一緒に食事をしたりして、とても楽しかったです。勉強になりました。そして、子どもはすごいなと改めて思いました。それぞれが違う言語を話しますが、言語や国や文化の違いがあっても、そのようなものは元からなかったかのように、すぐに友達になったり、仲良く遊んだりできます。新たな驚きでした。色々な国から集まった福岡県人会の皆さんと交流ができたし、他の国の福岡県人会でどのようなことが行われているのかも知ることができました。本当に勉強になりました。

お世話をしてくださった皆様、本当にどうもありがとうございました。

Cグループ



コロンビア福岡県人会

西 春美
Nishi Harumi

コロンビア福岡県人会員として、また青年部員として、今回参加させていただいたことに感謝しています。本当に有難うございました。たくさんの経験をさせてもらい、改めて日本文化を尊敬し、多くのことを学ばせてもらいました。日本で新しいことを学ぶのではなく、今まで知っていた日本文化が明確になりました。日本人はとても働き者で、義務を果たし、何事にも真面目で時間にも正確です。今回は若い人達との交流がなかったので、町を歩いたりして、もっと人々の考えなどを知ることができたら良いなと思いました。もちろん、活動に制限があるし、子ども達を責任をもって面倒見なければならないので容易なことではないと思います。ホームステイは、本当に良い経験になりました。深見さんご一家は、私たちを本当の家族のように歓迎してくれました。とても寛大で、すごく気配りしてくださいました。福岡の色々なところをみせてくださいました。大分県へも連れて行ってくださいました。日本の工芸品や伝統的な文化遺産などを見せてもらいました。本当に有難うございました。私は自分の祖先や日本の文化を見ることができて、感謝しています。皆様、本当にお世話になりました。本当に有難うございました。

Cグループ



メキシコ福岡県人会

行徳 メルセデス
Ygotoku Mercedes

日系人であることの意味がはっきり理解できた貴重な体験でした。福岡では、どの場所でも自然を感じ、自分が自然の良さを忘れていたことに気がきました。子弟も同じ気持ちで、日本では自然を大切にしている事をととても感心していました。そうめん流しや、トヨタ自動車工場見学の際の行程や考え方やコンセプトがメキシコと違い印象的でした。おにぎり、寿司、ラーメンなどメキシコで食べたことのあるものを本場の日本で食べましたが、味が全然違います。千倍美味しかったです。那珂小学校の皆さんと給食を食べた時は、家族と一緒にご飯を食べているようでした。若い生徒達が食べ方を説明してくれたり、お代わりを進めてくれたことがとても可愛かったです。今回の経験によって、日本語をさらに勉強して、また福岡に行きたいという気持ちが強くなりました。日本で体験して学んだ知識をメキシコの人たちとシェアして、その知識を参考にもっと県人会を良くしていきたいです。このプログラムで得たことは、日本文化や習慣を次の世代につなげる大切さです。福岡とメキシコの架け橋だけではなく、全世界の福岡県人会のネットワーク作りにこれから励んで行くことです。このプログラムに参加できたことをとても感謝しております。福岡に行けた事だけではなく、自分の祖父の故郷に行けたこと、福岡県人と直接ふれあって習慣や文化を感じる事ができ感謝しています。今回お世話になった全ての皆様方、本当にお世話になりました。心から感謝いたします。皆様と又会える機会を楽しみにしております。本当にありがとうございました。

Dグループ



在ポリビア福岡県人会

田島 ひとみ
Tajima Hitomi

今回参加者達は、時間を守る事、他人への思いやり、挨拶をきちんとする事の大切さを勉強したのではないのでしょうか。期間中は様々なところを訪問しました。私達のグループには、県費留学生の緒方君がついてくれたので心強かったです。子ども達は2日目くらいから、他国の子ども達と仲良くなり始めました。自動販売機に興味深々で、皆で一緒に何度も足を運んでいたようです。キャナルシティでの買い物やこんぺいとう作りなど、子ども達にとってはとても楽しいものばかりでした。ホームステイでは、久しぶりの方々にお会いすることができ、このような機会を作って頂き感謝しています。子ども達もホストファミリーと充実した時間を過ごしたようで、別れの際は寂しげな印象を受けました。子ども達は最後まで楽しく過ごしました。お風呂がお気に入り、毎晩夕食後すぐに大浴場に駆けつけていました。福岡での滞在は短かったけれど、大きな台風にもあわず、他国の県人会から皆さんとの交流もでき、そして県費留学生の皆さんとも交流でき、絆が深まりました。子ども達が将来、また県費留学生として、社会人として福岡を思い出し、日本へ行くことを願いたいものです。帰国後、ポリビアでは報告会をしました。県人会の皆さんが集まる前で、たくさんのお土産話がありました。スタッフの皆さん、空港でのサポートもしてくださり、ありがとうございました。そして、今回のプログラムを企画してくださった皆様、本当にありがとうございました。

Eグループ



バンクーバー福岡県人会

千々和 ちえこ
Chijiwa Chieko

プログラムに参加させて頂き、とても感謝しています。私は福岡には幼少期、青年期と数回遊びに行ったことはありましたが、今回新しいことをたくさん学ぶことができました。親として、そして引率者として、子ども達が今後福岡とどのような繋がりを持つことができるのか、楽しみにして参加しました。子ども達は私達の未来です。プログラム中の子ども達同士の交流はとても良かったです。最初は、子ども達は同じ県会同士でしか交流していませんでしたが、最後には皆仲良く遊んでいました。小倉城や太宰府天満宮、博多祇園山笠やトヨタ自動車工場見学など本当に様々な所に行き、福岡の文化を学びました。カナダのような歴史の浅い国と比べて、福岡の歴史は長く、それを守ることは大変ではありますが、大切なことだと感じました。祭りでは、その地区の伝統を守ることが、住民のアイデンティティーとして大事なのだとも感じました。福岡県庁で見た、博多織などの福岡県の名物には感動しました。繊細な技、仕事がとても印象に残りました。ホームステイではルーツについてより理解でき、感謝しています。この交流を後世にも伝えて、繋がりを保ち続けていかなければと感じました。また、他の国の県人会の皆さんとの交流がとても印象に残りました。世界の福岡県人会で色々な活動をしているのを知って、バンクーバーでの活動にも意欲ができました。今回の経験は、将来の財産になると思います。今後の福岡県と県人会との繋がりに役立てていきたいです。このプログラムはルーツについて興味、関心、理解を高めることができる本当に有意義なプログラムです。心よりありがとうございました。

Eグループ



南加福岡県人会

宮田 英文
Miyata Hidefumi

当初、子供がいない私に子どもの引率が出来るとかという不安も有りましたが、実際、11歳の子どもは私が思っていた以上に大人でした。子ども達が目を凝らして見ている物事に目をやると、今まで見て知っていたものが違った角度から見れて新鮮に感じました。南加県人会からの参加者の青君と征璽君が他の県人会の子ども達と仲良くなれるか？という当初の心配も、必要有りませんでした。サッカーボール、漫画、ゲームなど興味があるのは、どこの国でも皆同じです。気が付けば、国や言葉など関係なく、皆で走り回っていました。12日間の滞在で、福岡はとても豊かな所だと改めて実感しました。経済力に優れ、ゴミが少ない綺麗な街並み、海・山・川・緑いっぱい自然に富み、雨・風・照りつける太陽から生まれる自然の恵みや、古くから続く伝統文化を大切に守りながらも、止まること無く進歩する高い技術力。多種多様な食文化等、色々なことを見て感じて、福岡県人として生まれて本当に良かったと思いました。子ども達にも福岡県人の血を受け継いでいる誇りを持って、歩んでいってほしいです。大人達は、子ども達の手本となって、しっかりとした指導をしなければならぬとも思いました。貴重な体験を共にした世界中から来た県人会の皆さん、再会の日を楽しみにしています。また、今回のプログラムに携わりサポートして頂いた皆様に、心より感謝いたします。

Fグループ



ハワイ島福岡県人会

吉山 尚美
Yoshiyama Naomi

今回本プログラムに参加させて頂いたことで、各県人会の活動や、本事業参加による効果を知る事ができました。南米県人会の活動は盛んで、日本伝統文化教室の定期的開催や弁論大会など、日本文化継承の活動が若い世代を中心に実施されている事に驚きました。このような活動が本事業への参加意欲を高め、日本に対する関心度の高さに繋がっていましたし、またそれは県費留学生希望者数にも影響していると思います。今回、様々な団体の方が国際交流に対して積極的で、那珂小学校では、海外との交流を積極的に取り入れる姿勢に感動しました。福岡の子ども達が海外移住者やその子孫の存在を知り、海外への関心が高くなることを期待します。また、福岡の街の素晴らしさも再認識しました。この感動が将来の活動に活かされることと思います。そして本事業の改善点をあげるならば、1つ目は参加子弟の日本語能力です。日本語がわかる子弟とそうでない子弟とでは、参加意欲に明らかな差がみられました。日本語は参加子弟の共通語でもあります。事前準備の強化を県人会の中でも講じなければと思います。2つ目は、引率者の役割の明確化です。他人へ子供を預ける際の最低限守るべきモラルを事前説明要項に明確化しなければ、引率者への負担は大きくなります。最後になりましたが、今回学んだ事を県人会の一員として、今後の活動に活かしていきたいです。福岡、又はハワイに住む（現県人会メンバーではない）、県人会活動に関心のある若い世代を、今後いかに呼び寄せるかが鍵だと思えます。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

参加者レポート
福岡県移住者子弟留学生

Aグループ



ブラジル福岡県人会

高階 矢富 強 ジュリアノ
Takashina Yatomi Tsuyoshi Juliano

今年の日本の留学生活の中で、七月は一番忙しくて、そして楽しい事が沢山ありました。良い思い出を作る事が出来て、凄く感謝しています。「県人会担い手育成招へい事業」と言う素晴らしいプログラムに参加し、8カ国の子弟19名、引率者10名と僕達留学生は色々な所に見学に行ったり、歴史に残る有名な観光地を巡ったり、様々な体験をしました。子ども達はもちろん、僕達留学生も、自分のルーツである福岡県との繋がりを理解する事が出来て、とても嬉しかったです。子ども達は、最初に会った時は、緊張と恥ずかしさをかくす事が出来ずお互いに照れながら挨拶をしていました。しかし、すぐに仲良くなって、この長いようで短かった12日間があつと言う間に過ぎました。プログラム中の7月20日は、僕の誕生日でもあったので、参加者の皆さんから何回もサプライズをしてもらいました。凄く感動しました。何回も祝ってくれたので、今年は何歳ふえたのかな、と思いました。この担い手育成招へい事業を経験したことで、日本・福岡との繋がりをどのように理解したのか、また今後の県人会活動にどのような影響を与えるのかを知るのが楽しみです。また、皆さんに会える日を楽しみにしています。

Aグループ



ブラジル福岡県人会

平田 さゆり カレアンドラ
Hirata Sayuri Kaleandra

県人会担い手育成招へい事業は、とても面白かったです、このプログラムに参加して、私はたくさんの事を学びました。ブラジル、ボリビア、パラグアイ、アメリカ、ペルー、メキシコ、コロンビアからの十九名の子ども達と十名の引率者が福岡にやってきました。色々な国の子ども達、引率者と一緒に福岡の歴史と日本文化を体験しました。12日間私たちは色々なところを見学しました。例えばトヨタ自動車九州工場、こんぺいとうミュージアム、ショッピングにも行きました。太宰府天満宮で私と子ども達は初めて手水をそそいだり、おみくじをひいたりしました。日本文化の中でも、このような文化はとても素晴らしいことだと思います。子ども達は、那珂小学校での交流が一番良かったと言っていました。子ども達は、ブラジルで発表するものを作成してきました。実際に日本で発表する時は恥ずかしがっていたけれど、本番は良い発表ができて私も嬉しくなりました。学校で県会の子ども達と日本の小学生たちはたくさん遊んだり、ゲームをしたり、友達を作りました。それは彼達にとって、とてもいい経験になったと思います。私は、嬉しそうな子ども達を見て、自分も嬉しくなりました。この経験で、私は自分の子ども時代のことを思い出しました。例えば子ども達が明るく楽しんだり、子ども心、子どもの遊びが記憶にのこっています。私と子ども達は、文化、意見、経験してきた事などをお互いに話しました。子ども達はとても可愛くて、楽しいです。このような素晴らしい出会いがあったことが幸せです。今回の出会いを忘れず、ブラジルに帰ってもこの繋がりをますます広げていきたいです。

Bグループ

	パラグアイ福岡県人会
	北川 瞳 Kitagawa Hitomi

平成27年度県人会担い手育成招へい事業では、8カ国から19名の子弟、10名の引率者と10名の留学生が加わり、充実した12日間を過ごすことが出来ました。博多祇園山笠見学、太宰府天満宮、小倉城、トヨタ自動車九州工場見学、茶道や和太鼓体験などを通して日本と福岡の文化や歴史を学ぶ事ができました。又、那珂小学校では日本の同年代の子ども達と交流する機会もあり、ここでは手作りで色々な遊びを準備して下さり、心のこもった歓迎をして下さいました。県会の子ども達は、自分の国の食文化や観光地などの紹介をしたり、歌やダンスの披露などを通して楽しく交流しました。自分達の国のことを知ってもらおうと、必死で頑張っていることが私達にも伝わってきました。私達の国では珍しい、給食と一緒に食べる事も出来ました。

子ども達は、はじめは恥ずかしさと緊張が見られ、会話をすることもあまりありませんでした。しかし、ゲームなどを通してチームを組み、お互い助け合ったりしていくうちに仲良くなり、明るく元気いっぱいのお賑やかで楽しい毎日でした。言語や文化が違っても、笑顔や表現で伝えることで仲良くなり、絆が深まるという事を知ったのは、彼らにとっても貴重な体験になったと思います。

短い期間でしたが、子ども達との交流を通じて、新たな経験が出来、思い出に残る毎日でした。同じ福岡県にルーツを持つ人達との出会いを大切に、またいつか皆さんにお会い出来る事を楽しみにしています。

Bグループ

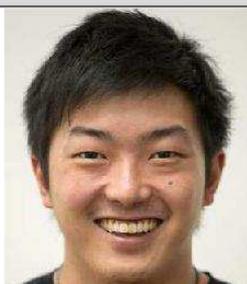
	ペルー福岡クラブ
	グティエレス タナベ アレックス Gutierrez Tanabe Alex

一番大変だったのは、1日目の夜でした。子ども達は元気が良すぎて、夜遅くまで遊んで、次の日は朝早くに起きました。なので全然眠れませんでした。「この事業は無理かも！」と思いましたが、次の日からどんどん慣れて、全部が良くなりました。

この事業のおかげで、子ども達と福岡県の今まで行ったことがない様々な所に行くことが出来ました。小倉城やトヨタ自動車工場、博多祇園山笠も初めて見ました。一番好きだったのが那珂小学校に行った日です。ペルーの小学校と全然違うので驚きました。小さい頃から礼儀を学んで、教室を掃除するのが一番驚きました。小学生に戻ることが出来たら、日本の小学校で勉強したいです。あと那珂小学校の子ども達が県会の子ども達を歓迎してくれ、準備してくれていたことに感動しました。

私がこの事業で一番学んだことは協力です。子どもを集合時間までに集めたり、一緒に朝ごはんを食べたり、いつも子どもが一人になっていないかを確認したり、グループで動いたり、毎日がチームワークの連続でした。このチームワークのおかげで、みんなと絆ができたように思います。そして最後の日が来た時に、ペルー県人会人の子弟が別れを惜しんでくれました。短い間だったのに、こんなにも仲良くなれると思わなかったので感動しました。この十日間は大変でしたが、とてもいい経験でした。

Cグループ



メキシコ福岡県人会

寺本 英樹
Teramoto Hideki

福岡県が毎年、海外福岡県人会から子ども達・引率者達を福岡県に招待してくれています。今年は、19人の子ども達と、そして引率者10人が福岡県に招かれました。この事業は、本当に素晴らしいものだと思っています。今年はメキシコからは3名の参加でしたが、来年は倍くらいの方がもっと来てくれたらと思います。そうする事で、福岡県や県人会の活動にたくさんの方が興味をもってもらえると思います。毎年メキシコの子どもが5人ぐらいこのプログラムに参加してほしいくらいです。

プログラムは12日間でした。子ども達にとって、一生で忘れられない良い思い出が作れたと思っています。毎日朝から晩まで遊んだり、食堂で一緒にごはんを食べたり、福岡の色々な場所を見たり、ホームステイで日本の親戚や家族と3日間過ごしたり、日本のおもちゃやゲームで遊んだりしたことは、絶対に忘れられない思い出です。そして、今回参加した子ども達の多くは、将来、自国の大学を卒業した後に、県費留学生としてもう一度福岡に戻ってきたいと言っていました。

引率者にとっても、今回のプログラムは福岡県に来る良いチャンスだったと思います。今回のプログラムが終わってから、自国の県人会に戻ったら、みんなが県人会活動に力を入れれば、これから必ず県人会の絆は強くなると思います。

Dグループ



在ボリビア福岡県人会

緒方 翔 マルセロ
Ogata Shyo Marcelo

県人会担い手育成招へい事業に参加させていただき、ありがとうございました。とても良いプログラムでした。

僕は、世界中からの福岡県人会の子ども達と交流するのが初めてだったので、緊張していました。このプログラムで、子ども達と一緒に交流をしながら福岡県の色んな所に見学に行きました。子ども達はとても元気で、毎日がにぎやかでとても楽しかったです。いつの間にか緊張もなくなっていました。参加したみんなは、お互い言葉が通じなくても、すぐに仲良くなりました。他の国の子ども達同士がだんだん仲良くなり、最後にはとても仲良く交流していく様子をはっきりと見る事ができました。プログラムの間は、忙しくて疲れましたが、子ども達の笑顔でパワーを貰って、この12日間はあっという間に過ぎました。子ども達との別れの時間がくると、帰ってしまうのが悲しくなりました。

この機会を与えてくださった福岡県の皆さんには、心から感謝しております。このプログラムに参加し、子ども達との交流や県人会同士の交流の大切さが理解出来ました。

D グループ**アルゼンチン福岡県人会****江口 イネス マリア
Eguchi Ines Maria**

7月10日から21日までの12日間、グローバルアリーナで寝泊まりをしながら、県人会担い手育成招へい事業に参加しました。プログラム中は、たくさんのことをしました。そうめん流しをしたり、博多祇園山笠の集団山見せを見学したり、那珂小学校で茶道体験をしたり、北九州では小倉城に行ってお城の中を見学しました。こんぺいとうも作りました。そしてトヨタ自動車九州工場の見学にも行きました。このプログラムでたくさんの海外県人会から来た日系人と出会うことができました。アルゼンチンの日系社会は大きいですが、地域が広がっているせいか、今回のような様々な人達と出会う経験はしたことがありませんでした。こんなにも日系社会が世界中に広がっていることを初めて知りました。驚きました。本当にこの12日間で色々な所に行くことができましたし、子ども達と一緒に過ごすことができ、本当に楽しかったです。私は、もう少し子どもの時から、日系人や自分のルーツについて知っていたらな、と思いました。しかし、今からでも遅くはないと思うので、これからも勉強をして日系人についても学んでいきたいと思いました。ありがとうございました。

F グループ**南加福岡県人会****松井 エリック 武士
Matsui Eric Takeshi**

このプログラムで、私はロサンゼルス以外の多くの県人会の人たちと出会い、多くのことを学びました。私はこんなにも多くの海外県人会の日系人コミュニティーがあることを認識していませんでした。もちろん、コロンビアやシアトル、ブラジルやハワイなどの一部のことは知っていました。プログラム中、皆がお互いに少しずつ仲良くなっていく様子は、とても興味深いものでした。言語もばらばらなのに、仲よくなる姿は不思議でした。確かに、県費留学生の皆も、一緒に生活している寮では、それぞれが異なる言語を話すのに、仲よくしています。それは子どもにしても大人にしても同じことだという事を再認識しました。私は今まで、子ども達と接する機会があまりなかったので、今回は大変面白い経験になりました。親戚はいますが、彼らとはまた違いました。

今回は、どうしても同じグループの子どもとばかりの交流になってしまったので、他の県人会からの引率者や子ども達について知る機会が少なかったように感じました。今後は、もっと他のグループの参加者達とも交流ができると良いのではないかと思います。そうすることで、より参加者同士のネットワークの輪も広がるのではないかと思います。ありがとうございました。

Fグループ



メキシコ福岡県人会

エルナンデス吉開 順一
Hernandez Yoshikai Junichi

7月に各国から福岡県人会の子ども達が、自分のルーツについて学ぶため、また新しい出会いの為に福岡県にきました。期間は12日間でした。ブラジル、パラグアイ、ボリビア、ペルー、メキシコ、コロンビア、カナダ、アメリカの子ども達が福岡にやって来ました。たくさんの活動を一緒にしました。小学校訪問や自動車工場見学などです。見学に行く際は、グローバルアリーナからのバスの距離が長く疲れることもありましたし、このプログラムで子ども達をサポートするのは大変でしたが、それ以上にすごく楽しかったです。私はこのプログラムは、福岡県にルーツを持つ子ども達にとって非常に興味深いものだと思います。しかしこのプログラムの行程や内容を変えると、もっと効率的で良いプログラムになると思いました。特に、那珂小学校でのプレゼンテーションの準備には、私達はたくさんの時間が必要でした。今回のプログラムで、たくさんの他国の県人会からの友人ができたし、県人会活動に対する刺激も受けました。もっと県人会活動に励みたいと思います。メキシコに帰国してからもこの気持ちをもち続けたいと思います。

Fグループ



南加福岡県人会

プリビ エミリージョン
Priebe Emily Joan

今回の事業はとても面白くて忘れられない思い出が沢山できました。福岡の事や、他の県人会の事についても多くの事を学びました。福岡にはたくさんの有名な所があります。中でもトヨタ自動車工場に行きました。この日は一番大好きな日でした。車の組立工程と発明や技術革新を見る事ができました。初めてこんなに大きな工場に行って、ロボットやパーツを見ました。他にも太宰府天満宮や小倉城、福岡の一番有名な祭りの山笠も見ました。とても面白かったです。この祭りが福岡だけのもので、しかも神様のための祭りとは知りませんでした。この一週間、人生の中で一番福岡の歴史を学び、また他の国の人達とも出会う事ができました。日本に来る前までは、南米の日系人についてあまり知らなかったもので、今回はとてもショックでした。初めてボリビア、アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、パラグアイ、ペルーの人達と会いました。みんなの国の歴史や有名な場所や食べ物など、たくさんの事を教えてもらいました。アメリカと日本はたくさん違うことはありますが、アメリカと日本と南米の似ている事と違う事も沢山知りました。小学校交流では、県人会の子ども達は、自分の国の踊りを見せました。それぞれ違う洋服を来て、踊りを見せました。とても面白かったです！一番の財産は、沢山の友達と思い出ができたことです。グローバルアリーナでサッカーをしたり、バスで寝ている人の顔に落書きをしたり、国の有名なお化けの話を教えたり、たくさん遊んで、仲良くなって、いい思い出を作ることができました。1週間で素晴らしい友達やネットワークがたくさんできました。最後の日にさよならを言うのはとても寂しかったけれど、たくさんいい思い出があります。みんなと次に会えるのが楽しみです！

福岡県出身の移住者やその子弟等で 構成される海外の県人会について

■福岡県の海外移住

(1) 海外移住の始まり

明治18年（1885年）のハワイ移住により始まり、129年を経過

(2) 海外移住者総数（自由移民を含まず）

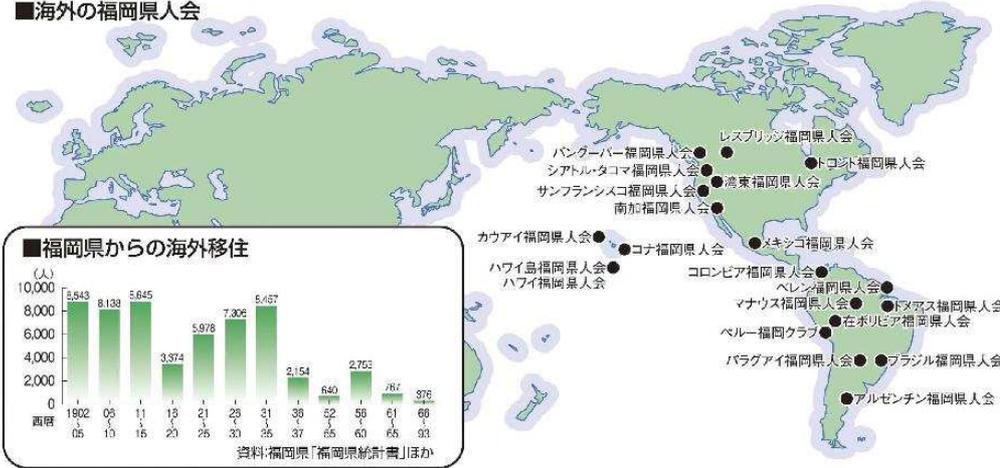
戦前（明治32年から昭和16年） 51,240人（全国比7.8%）

戦後（昭和27年度から平成5年度） 4,536人（全国比6.2%）

※戦前・戦後計 55,776人（全国第4位）

- 第1位 広島 98,975人
- 第2位 沖縄 79,454人
- 第3位 熊本 72,699人
- 第4位 福岡 55,776人
- 第5位 山口 47,430人

■海外の福岡県人会



アルゼンチン	アルゼンチン福岡県人会	カナダ	トロント福岡県人会	アメリカ（ハワイ）	ハワイ島福岡県人会
ポリビア	在ポリビア福岡県人会	カナダ	バンクーバー福岡県人会	アメリカ（ハワイ）	カウアイ福岡県人会
ブラジル	ベレン福岡県人会	コロンビア	コロンビア福岡県人会	アメリカ（ハワイ）	コナ福岡県人会
ブラジル	ブラジル福岡県人会	メキシコ	メキシコ福岡県人会	アメリカ（本土）	南加福岡県人会
ブラジル	マナウス福岡県人会	パラグアイ	パラグアイ福岡県人会	アメリカ（本土）	サンフランシスコ福岡県人会
ブラジル	トメアス福岡県人会	ペルー	ペルー福岡クラブ	アメリカ（本土）	シアトル・タコマ福岡県人会
カナダ	レスブリッジ福岡県人会	アメリカ（ハワイ）	ハワイ福岡県人会	アメリカ（本土）	湾東福岡県人会

海外県人会 9ヶ国21県人会

海外福岡県人会子弟招へい事業 実施要綱

(目 的)

第1条 海外福岡県人会会員の子弟を本県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図るものである。

(事業の実施)

第2条 この事業は、関係機関で構成する海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会（以下「実行委員会」という。）が実施する。

2 実行委員会は、国際交流局交流第二課長、青少年課長、義務教育課長、公益財団法人福岡県国際交流センター専務理事をもって組織する。

3 実行委員会の委員長（以下「委員長」という。）は、公益財団法人福岡県国際交流センター専務理事をもって充てる。

(会 議)

第3条 実行委員会は、委員長が必要に応じて開催する。

2 実行委員会は、第4条に規定する事業について協議し、決定する。

(事 業)

第4条 実行委員会は、海外福岡県人会子弟招へい事業（以下「招へい事業」という。）の実施にあたり、次のことについて協議し、決定する。

(1) 事業計画と事業予算の決定

(2) 招へいする子弟及び引率者（以下「招へい者」という。）の決定

(3) その他、この事業の実施に関し必要と認められる事項

(招へいする子弟の条件)

第5条 子弟は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。

(1) 招へい事業の目的を理解していること

(2) 海外福岡県人会会員の子弟であること

(3) 年齢は招へい期間中に原則満11歳であること

(4) 各自で親戚宅等のホームステイ先を原則確保できること

(5) 心身共に健康であること

(6) 日常の身の回りのことが一人でできること

(7) 自国の文化や社会、生活様式について紹介ができること

(8) 募集要項に定める注意事項を遵守できること

(9) 以前に当プログラムに参加したことがない子弟であること

(引率者の参加条件)

第6条 招へいする子弟は引率者が帯同するものとする。

2 引率者は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。

- (1) 招へい事業の目的をよく理解していること
- (2) 招へい期間を通じて子弟の指導や援助ができること
- (3) 海外福岡県人会の会員であること
- (4) 招へいする子弟の原則祖父母、父母、兄、姉、伯父(叔父)、伯母(叔母)ではないこと
- (5) 年齢は招へい期間中に原則20歳以上50歳未満であること
- (6) 日本語でコミュニケーションがとれ、子弟とホストファミリーその他の関係者との間の通訳ができること
- (7) 各自で親戚宅等のホームステイ先を原則確保できること
- (8) 事業終了後、海外福岡県人会活動に積極的に参加すること
- (9) 以前に当プログラムに参加したことのない引率者であること

(申請書の提出)

第7条 招へい事業の参加希望者は、招へい事業参加申請書(様式第1号)もしくは引率申請書(様式第2号)に親権者の承諾書(様式第3号)を添え(親権者の承諾書の添付は子弟の場合のみ必要)、海外福岡県人会長(以下「県人会長」という。)に提出しなければならない。

2 県人会長は、前項の申請者の提出があったときは、推薦書(様式第4号)を添えて、委員長に提出するものとする。

(招へい者の決定)

第8条 委員長は、実行委員会の中に、招へい者を決定するため、海外福岡県人会子弟招へい者等選考委員会(以下「選考委員会」という。)を設置する。

2 委員長は、選考委員会の選考結果の報告を受け、実行委員会で招へい者を決定する。

3 委員長は、招へい者を決定した場合、すみやかに招へい者に対し、県人会長を通じて、招へい事業参加決定通知書(様式第5号)を交付する。

(選考委員会)

第9条 前条の選考委員会の委員は、国際交流局交流第二課長と公益財団法人福岡県国際交流センター専務理事とする。なお、必要に応じて委員長が別途委員を指名することができる。

2 選考委員会は委員長が必要に応じて開催する。

(経費)

第10条 招へい者の往復の航空運賃及び福岡での滞在に係る経費については、実行委員会が負担する。

(事務局)

第11条 実行委員会及び選考委員会の事務を処理するため、事務局を公益財団法人福岡県国際交流センターに置く。

2 事務局長は公益財団法人福岡県国際交流センター事務局長をもって充てる。

(その他)

第12条 この要項に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年1月17日より施行する。

附 則

この要綱は、平成21年2月17日より施行する。

附 則

この要綱は、平成22年2月8日より施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日より施行する。

2015.7.10 ~ 21

**Short Term Visit Program for
Young Descendants of Immigrants
from Fukuoka Prefecture**